



経営支援員と二人三脚



61人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

培ってきた知恵の活用で 西陣織の新たな魅力を創造発信

強みを深掘りし
“無自覚”だった
自社の価値に気付く

西陣織の中でも、「経錦織（たてにしきおり）」という希少な織物を取り扱っています。生地全体に隙間なく美しい柄が入っているのが特徴で、その魅力を生かし、人形店や土産物店への裂地の提供や、着物以外にもバッグ・小物等の商品展開で顧客のすそ野を広げてきました。近年はインバウンド向けに手応えを感じていましたが、コロナ禍で状況は一変。自社の方向性を客観的に見直したいと考えていた時、京都商工会議所が主催する「知恵の経営」実践セミナーを受講しました。

セミナーでは、毎回課題に向き合い、自社の強みや弱みを明確にしていきました。例えば、店が抱える多くの在庫を余剰品だと思い、自社の弱みだと考えていましたが、経営支援員にも相談し、自社を見つめ直す中で、店先の棚に色ごとに管理された豊富な在庫は、お客様が実際に見て触れて、商品の魅力を感じてもらえるサービスに生かせるという示唆を受けました。それは今まで自覚していなかった自社の強みだと気付きました。

先代のチャレンジ精神を受け継ぎ
お客様の心を掴む
新たなものづくり

「知恵の経営」報告書をまとめる中で、先代が30年以上前に従来の経錦織にはなかつ



代表取締役
瀬川 誠さん

洛北 BSD
中埜支援員

た金糸を表に出す技法を開発するなど、新しいことにチャレンジしており、その気概が今も社内を受け継がれていることを改めて実感しました。私たちもパステルカラーなど現代の流行を取り入れた色柄の開発に挑戦してきました。従来の西陣織の常識に囚われないこの取り組みで「知恵の経営」実践モデル企業の認証を受け、自信に繋がりました。また、誰をターゲットにどのような売り方をしていくのが明確になり、こうした目に見え

企業情報

瀬川織物株式会社

（代表）瀬川 誠
（住所）京都市上京区岸山寺通大宮西入東社町311
（TEL）075-441-8020
（Web）<https://www.segawa-tex.com/>



色とりどりの裂地を使用したバッグや小物など幅広い商品を展開しています。また、裂地の色や柄をネット上でご確認いただけるオンライン見本帳もございますので、是非ホームページをご覧ください。



ない強みを知ることができたのも大きな収穫でした。

経営支援員は私たちに寄り添い、困った時には必要な情報を迅速に提供してくれました。今後、京商の協力を得ながら、自社のブランド価値を確立していくと考えていますが、その大きな指針となるのが「知恵の経営」報告書です。先行きが不透明な時代、先代の教えを胸に、培ってきた強みや特徴を生かした経営を進めていきたいと思っています。